

(1)生徒の体力の現状

- ☐男女とも全体的に平均を上回っている。
- ☐意識調査では、おおむね肯定的な回答が多い。
- ☒男女共に持久力に課題を感じる。

(2)令和元年度の具体目標の達成状況と課題

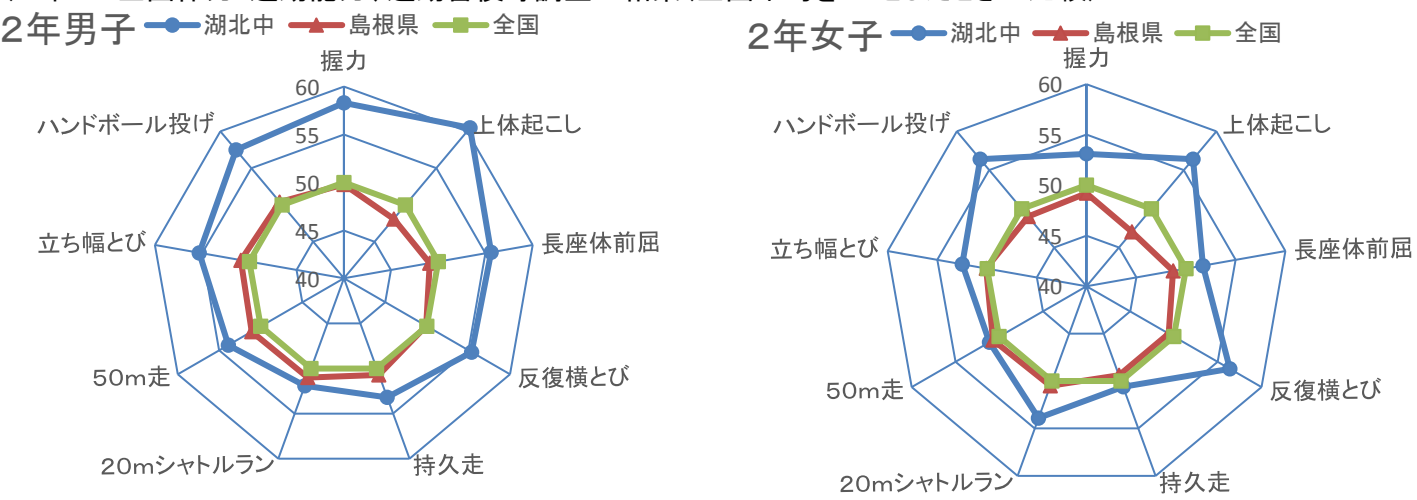
- ☐筋持久力や瞬発力を高めるために、始業時のサーキットトレーニングを徹底して実施した。それが奏効して、生徒の多くが体力を高めていると思われる。
- ☐ソフトボールの授業で、ボールを投げる基本動作の指導を徹底して行うことで、昨年度の課題であった、ソフトボール投げの得点が伸びた。
- ☐振り返りの時間を確保できるよう努めることができた。
- ☒授業の中でペアやグループで話し合う時間を十分に確保できなかった。

(3)令和2年度の取組【対策】

- ①学校における取組
 - ・瞬発力、敏捷性の向上を図るために、始業時のサーキットトレーニングを継続して実施する。1年を通して同じサーキットトレーニングをしているので、単元に沿うような内容に変更しながら、トレーニングを行いたい。
 - ・体力テストの総合成績C以上の生徒の割合を、男子80%以上、女子95%以上をめざす。
 - ・体育の授業で振り返る活動を継続して確保する。また、電子黒板等の活用を多くし、話し合う活動を多く取り入れる。
- ②地域や家庭との連携による取組
 - ・地区運動会への積極的な参加を呼びかける。
 - ・部活動地域指導者の方の協力をいただき、部活動の質の向上に努める。
- ③体力向上をめざした生活習慣の確立、食育推進の取組
 - ・給食指導や保健の授業、生徒会活動(保健委員会)を通じて、食生活についての意識を高める工夫。

調査実施者数(人) 1年(男子22・女子28) 2年(男子28・女子21) 3年(男子31・女子25)

(4)2年生 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果(全国平均を50としたときの比較)



(5)全国体力・運動能力調査、運動習慣等調査 2年生意識調査の結果

